

【下層植生衰退度調査の結果】

H25～H26に実施した県内全域の森林下層植生衰退度調査から、ニホンジカによる被害状況把握を行った。



下層植生衰退度ランク\* : SDR  
(Shrub-layer Decline Rank)

ND D0 D1 D2 D3 D4

被害無 小 中 大

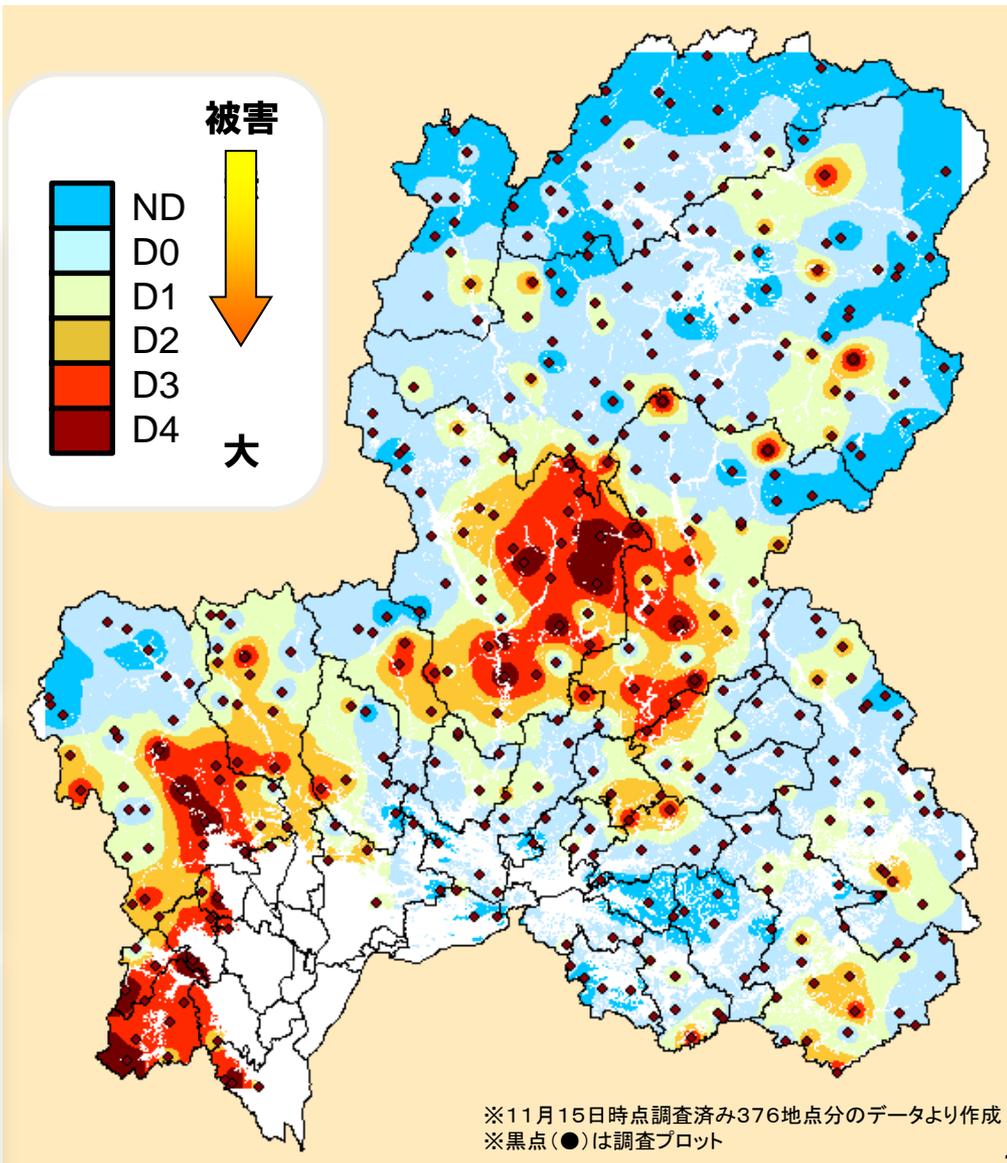
目視を基本とした簡易調査を広域多地点  
(県レベル、100地点以上)で実施

藤木大介博士(兵庫県森林動物研究センター)らが開発。

目視で森林下層植生の被度を調査し、ランク付けすることによって被害度を判定する。広域多地点での実施によって森林被害の空間分布を把握することができる(市町村レベル以上、100地点以上が望ましい)。

植物に詳しくない行政職員でも実施できるように設計されている。

現在、兵庫のほか、京都、滋賀、福井でも実施されている。



※11月15日時点調査済み376地点分のデータより作成  
※黒点(●)は調査プロット

<落葉広葉樹林内の衰退度ランク別箇所数>

SDRランク	箇所数
無被害(ND)	64地点
衰退度0(D0)	145地点
衰退度1(D1)	50地点
衰退度2(D2)	49地点
衰退度3(D3)	45地点
衰退度4(D4)	23地点
合計	376地点